

のど自慢がやって来た

8月27日、筑西市誕生1周年を記念して『NHKのど自慢』の公開生放送を行いました。予選を通過した出場者20組が熱唱。番組を通じて、筑西市の魅力を全国に発信しました。



『NHKのど自慢』が放送されるまで 舞台裏ドキュメント

筑西市の紹介映像を撮影

8月18日、NHKディレクターが市内を巡り、番組冒頭で流れる市紹介映像の撮影場所を決定。22日には、撮影スタッフが訪れ、あけのひまわりフェスティバル会場や梨の収穫風景、アルテリオに飾られている御輿などを撮影しました。

宮本アナウンサーが市内を取材

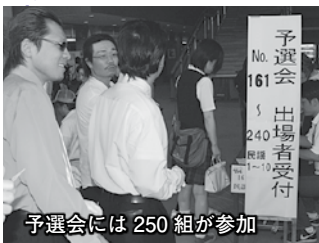
生放送前日の26日午前中、司会の宮本隆治アナウンサーが、放送に備えて筑西市を知るため事前取材。梨農家などを訪れました。

250組が参加して予選会

26日午後、本番同様に舞台が組み立てられた下館総合体育館で予選会を開催。はがきによる申込みのあった約1,200組の中から、抽選で選ばれた250組が出場しました。午後1時に始まったこの予選会、全員が歌い終わったのは6時でした。

いよいよ迎えた生放送当日

生放送当日の27日、下館総合体育館前には、午前11時の開場を待ちきれない観覧者1,800人による、長蛇の列ができました。放送直前には、主催者として富山県三市長があいさつ。そして午後0時15分、鐘の音とともに生放送が始まりました。



予選会には250組が参加



筑西市の紹介映像を撮影



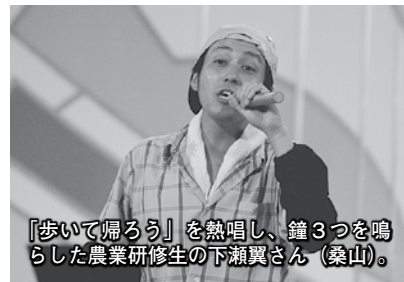
藤ヶ谷の梨農家を取材する宮本アナウンサー



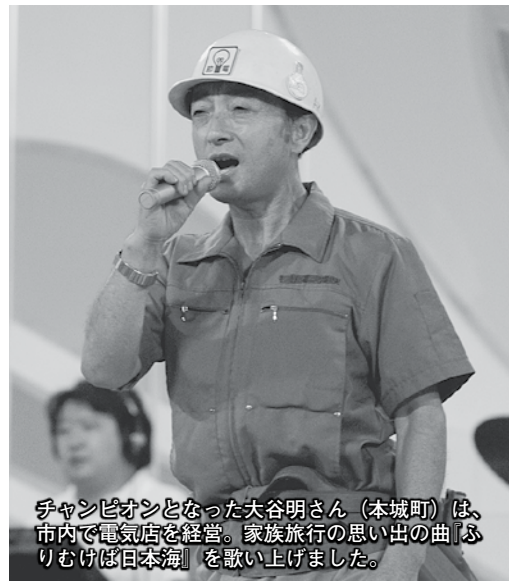
あいさつする富山県三市長



開場時間が待ちきれません



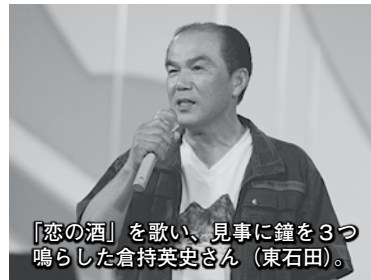
「歩いて帰ろう」を熱唱し、鐘3つを鳴らした農業研修生の下瀬翼さん（桑山）。



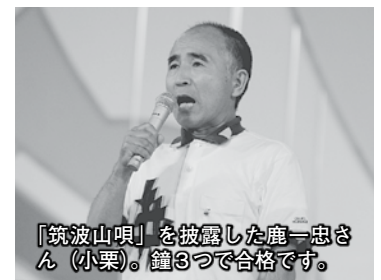
チャンピオンとなった大谷明さん（本城町）は、市内で電気店を経営。家族旅行の思い出の曲「ぶりむけば日本海」を歌い上げました。



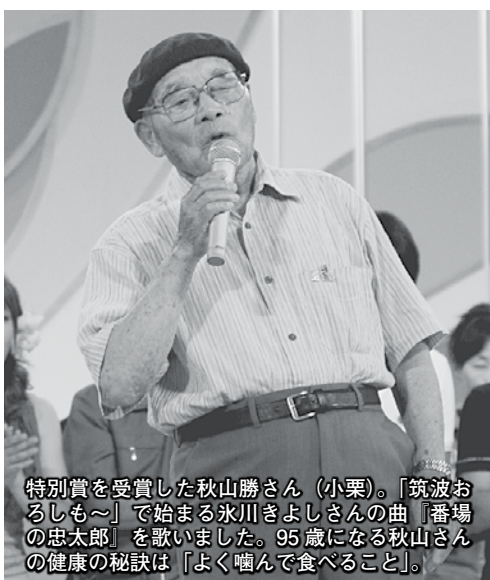
ユニークな衣装で「麦畑」を歌った村井正和さんと美紀さん夫妻（桜川市）。特別賞を受賞。



「恋の酒」を歌い、見事に鐘を3つ鳴らした倉持英史さん（東石田）。



「筑波山唄」を披露した鹿一忠さん（小栗）。鐘3つで合格です。



特別賞を受賞した秋山勝さん（小栗）。「筑波おるしも〜」で始まる氷川きよさんの曲「番場の忠太郎」を歌いました。95歳になる秋山さんの健康の秘訣は「よく噛んで食べること」。

